

助成事業実施報告書

団体名 一般社団法人 コミュニティシンクタンク北九州

代表者・役職名 氏名 代表理事 浜野 一俊

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

災害支援のための研修及び訓練活動

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

当法人は、「ひとつづくり」「ものづくり」「まちづくり」「にぎわいづくり」の4テーマを軸に北九州のにぎわいを創出したいの思いで2010年1月に創設しました。現会員は10名、北九州市内のまちづくりに資する活動をおこなっています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

北九州市は、平成30年豪雨により、大きな被害を受け市民の災害への意識は高くなりましたが、状況に応じた行動ができていない状況にあります。

ここ数年は毎年の様に地震や豪雨による災害が発生しており、発災時の対応への備えが必要と感じており、市内の各種団体(北九州市内の社会福祉協議会(市・区・校区)や地域自治組織、行政)との連携強化を図り、地域リーダーの育成とスキルアップに繋げていきたいと考えています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

1. 地域の防災リーダー育成に関する研修会の実施

地域の防災リーダー育成のための基礎講座(自助、家庭内でのルール)、共助、避難、リーダーシップについて研修会の実施

2. 避難所運営シミュレーション及び検討会の実施

避難所運営ゲームによる避難所運営シミュレーションの実施。

3. 防災訓練や避難所運営訓練の実施

小学校区単位で地域活動をおこなっているまちづくり協議会と連携し、地域内におけるリーダーの役割を明確にし、災害発生時に迅速に行動できるよう防災訓練を企画・実施。

4. 新型コロナウイルス対策と防災

遠隔システムを活用した地域防災に関する研修会の実施。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

外部講師を招いた研修・避難所運営ゲーム、避難訓練合わせて5回実施(そのうち2回は遠隔による研修) 避難所運営ゲーム参加者は2回で約130名、防災訓練参加者は約900名、研修会4回は160名でした。新型コロナウイルスの感染拡大により模擬試験を実施することはできませんでしたが、避難所運営ゲームや研修を通じて、地域リーダーとなる方々に対し、発災時にどのような役割を担い、行動すべきかなどを地域として検討することができました。本事業の実施により、住民主体で行動計画を作成する積極的な小地域も出てきました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

新型コロナウイルスの拡大により、地域住民同士の集まる場が失われています。それにともない、新型コロナウイルス感染拡大時の具体的な行動については、地域住民に十分に周知できていないという課題があります。今後は、リーダー同士による情報共有を含め、地域住民への周知について議論し、発災時に住民が主体となり行動できる地域づくりを目指していきます。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり 特になし

参考資料<活動状況写真>



防災訓練



研修会



避難所運営ゲーム



オンライン研修会